

六甲山

グランドデザイン



街とつながり 人が集う賑わいの山 「都市山・六甲」

瀬戸内海国立公園の一部である六甲山は、古来よりこの地域のシンボルとして存在してきた。

ある時は、自然に向き合いながら開発し、四季それぞれに楽しめるレジャーや体験型施設等による非日常空間も山上に誕生させてきた。またある時は、自然を守り、自然そのものを再生することで、そこに訪れる誰もがくつろげる空間を形成してきた。

六甲山に住まう人、六甲山で働く人、六甲山を訪れる観光客、それら全てを受け入れ、10年後、20年後、そしてその先も、後世に継承すべき自然景観を守りつつ、六甲山の魅力を磨くとともに新たな価値を創造、発信することで、多くの人々を持続的に惹きつける賑わいの山として、六甲山は進化していく。



六甲山グランドデザインを構成する 各ゾーンビジョン

六甲山 ゾーン

六甲山を象徴する景観と機能が集まる

「山上のヴィレッジ」

六甲山の中心として、自然に溶け込む魅力的な山上施設により形成されたまちなみに加え、景観を活かしたアート空間やクリエイティブなオフィス空間等、知的創造活動と豊かな自然環境が一体となった働く場という新たな価値も創造する、人々が集う賑わいのゾーン。

自然との調和を保ちながら、このゾーンにふさわしい施設や交通のあり方などにも配慮し、市街地からの気軽な観光や山上での長期滞在など多様なニーズを満たす「非日常的空間」を創る。

摩耶山 ゾーン

絶景と美しく静謐な自然に抱かれた

「眺望と文化が彩る山上」

人がつくった都市の景観と、自然そのものが見せる景色が一体となり形成される摩耶山ならではの眺望の魅力を満喫するための機能が整備されるゾーン。

都市に近接する日本有数の眺望地である摩耶山掬星台の特徴を中心に、育まれてきた歴史や文化、自然環境を最大限に活用し、市民が山に親しむ場であるとともに、国内外の多くの方に摩耶山の魅力を満喫してもらえる環境を整備することで、より自然を体感できる唯一無二の山上空間を創出していく。

また、登山、トレッキングを楽しむための拠点とするとともに、子どもたちが山の自然を体験できる場とする。

布引 ゾーン

日本三大神滝に出逢う

「ナショナルパークへのエントランス」

新神戸駅から徒歩10分ほどで日本を代表する名瀑を身近に感じられる、自然と癒しの空間をめぐるゾーン。

平安期に和歌にも読まれた歴史性と「神滝」と称される神秘性を有しており、市街地の延長線上として三宮や北野エリアとの連携を図ることで、国内外の旅行者を惹きつけるスポットとしてその価値をブランド化する。

再度山 ゾーン

自然に浸る

「学びと発見に満ちた山地」

弘法大師が再び修行に訪れたことに由来する再度山は、六甲山の植林による再生の歴史を学び、後世にその価値を伝えていくことに加え、神戸の文化発展の礎を築いた先人たちの眠る外国人墓地を通じて、六甲山のみならず神戸の魅力を再発見するゾーン。

自然と歴史を体感できる、学びと発見に満ちたエリアとしての魅力を磨き上げ、次世代に守り伝えていく。

※六甲山グランドデザインの「六甲山」とは、六甲山ゾーン、摩耶山ゾーン、布引ゾーン、再度山ゾーンの4ゾーンからなるエリアとする。

各ゾーンに共通する方策

- ◎ 主要アクションプラン
- 取り組むアクションプラン



方策1

六甲山の資源を継承する

瀬戸内海国立公園の一部である六甲山の自然や景観など、貴重な資源を次世代へ継承できるよう保護・保全、整備を図る。

- 適切な森林整備
- 治山・治水防災事業の推進
- 景観を阻害する樹木の適切な伐採
- 災害に強い道路整備



方策2

六甲山の魅力の向上を図り、情報を発信する

より魅力的に変わり続ける六甲山の情報発信するとともに、多様な来訪者と双方向コミュニケーションを図りながら、六甲山への愛着を醸成する。

- ◎ 六甲山のブランディング
- ◎ 六甲山における情報の一元化 (ホームページ等)
- ◎ 多様なターゲットへのプロモーション (マスメディアとの連携等)
- 六甲山各ゾーンごとの魅力の向上



方策3

時代にあった規制の見直しを行い、基準を明確にする

時代に即していない、見直しが必要な規制を見直すと同時に、不明瞭な基準を明確にして手続きの見える化を実現させる。

- ◎ 時代にあった規制の見直し
- ◎ 六甲山活性化に向けた相談窓口の設置



方策4

アクセスを改善し、回遊性を高める

バスやレンタサイクル、徒歩など多様な移動手段による快適な山上移動の実現について取り組む等、都市部から山上の広域的な回遊性を高める。

- ◎ 登山道、道標の整備 (多言語サイン整備)
- ◎ 楽しく安全に歩ける空間整備 (歩道整備)
- ◎ 山上での交通手段の充実 (バスを補完する楽しい交通手段の検討、レンタサイクルの活用)

※方策については、時代の変化やニーズの多様化等に対応し、柔軟に見直しを行う。



六甲山を象徴する景観と機能が集まる

「山上のヴィレッジ」

方策1

何度も訪れたいくなる
仕組みを作る



何度でも来訪してもらう環境を
整備する。

- ◎ 市街地からの分かりやすい誘導(統一デザインによる案内、交通結節点での案内改善等)
- ◎ 急行バスの運行継続による山上へのアクセス改善

方策2

おもてなし空間を
創造する



来訪者を受け入れる環境を
整備する。

- ◎ 既存コンテンツの充実(六甲ミーツ・アート芸術散歩等)
- ◎ 駅等から登山口までの誘導看板の整備
- ◎ 景観を害している廃墟を撤去できる仕組みの検討
- ◎ 六甲ケーブル下駅の改築
- ◎ トイレ整備
- ◎ キャッシュレス化
- 六甲山ビジターセンターでの情報発信
- ローリング族等騒音対策
- 自転車利用環境の改善の検討
- 携帯電話通信環境の改善

方策3

多様な楽しみを満喫
できる機能を充実する



市民から訪日旅行者、初めて訪問される
方やリピーターの方等、さまざまな人々が
自然や芸術等、多様な楽しみを満喫
できるよう施設・機能の充実を図る。

- ◎ 新しい機能の導入(眺望デッキの新設)
- ◎ 既存レストランのサービス面の向上(料理やサービスの質)
- ◎ 体験プログラムの造成
- 有馬温泉との連携
- スポーツツーリズムの推進
- 外国語対応のガイド育成
- 自然観察・体験学習の継続実施
- 観光事業者間の連絡会・勉強会の継続開催

方策4

自然の中で働く・
新たな価値を創造する

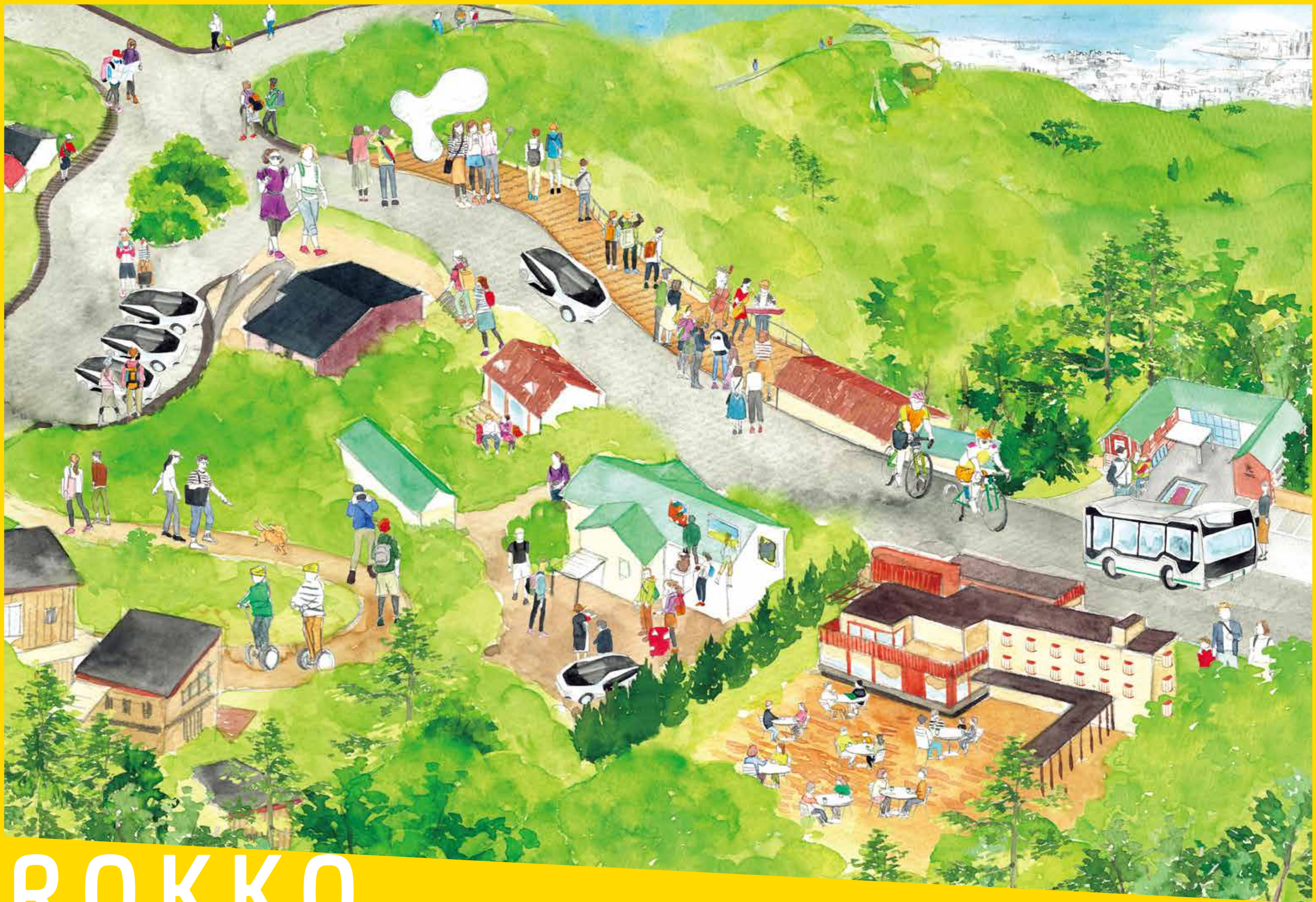


六甲山の「自然の中で働く」という
新たな価値を創造し、そこに人が集い、
賑わう空間を創出する。

- ◎ 補助制度を活用した遊休施設等の利活用の促進(宿泊施設、レストラン、カフェ、企業ゲストハウス、貸別荘等の民間誘致等)
- ◎ 遊休施設所有者と参入意向のある事業者とのマッチングの検討
- ◎ インターネット通信環境の改善



ROKKO



ROKKO

絶景と美しく静謐な自然に抱かれた

「眺望と文化が彩る山上」

方策 1

摩耶山の 魅力をみがく



掬星台や虹の駅など拠点における賑わいを創出するため、みんなが楽しめる空間を整備する。

- ◎ 掬星台の利活用検討(ビジターセンター及び魅力ある施設の設置、周辺の再整備等)及びオテル・ド・摩耶のPFI期間終了後の活用方法検討
- ◎ 虹の駅周辺の利活用検討(第二展望台化、あずまや、トイレの整備)
- ◎ キャッシュレス化
 - 市民活動の活性化とその支援
 - 展望や自然、歴史などの資源を体験できるプログラム造成
 - 自然観察授業、学習プログラムの継続
 - 既存施設や市民活動等との連携

方策 2

眺望を満喫する環境を 整備する



掬星台からの眺望を継続的に確保し、訪れる多くの方に感動を届ける環境を整備する。

- ◎ 展望施設の魅力向上(老朽化対策、インバウンド対応)
- 夜景だけではない眺望の魅力発信

方策 3

歴史や自然を感じる 空間を整備する



摩耶山での滞在時間を増やし、歴史や自然に浸れるよう、周辺施設との連携や山上交通の充実を図る。

- ◎ 六甲山牧場の再整備の検討
- 既存施設との連携(摩耶自然観察園、宿坊体験・座禅等)

方策 4

摩耶山への アクセスを快適にする



摩耶山へのアクセスをわかりやすく快適なものにし、来訪者の利便性向上を図る。

- ◎ 掬星台への輸送力強化の検討(摩耶ロープウェー・施設の大規模改修等)
- ◎ 市街地からの分かりやすい誘導(統一デザインによる案内、交通結節点での案内改善等)
- ◎ 駅等から登山口までの誘導看板の整備
- ◎ 急行バスの運行継続による山上へのアクセス改善



MAYYA

日本三大神滝に出逢う

「ナショナルパークへの エントランス」

方策 1

布引のブランド価値を
醸成する



市街地の延長線としての、
布引ゾーンの新しいブランド価値を
醸成する。

- ◎ 三宮や北野エリア等との連携
- ◎ ナイトタイムエコノミーの推進

方策 2

自然に癒される
空間を整備する



国内外の観光客が手軽に神滝や
自然に癒される空間を整備する。

- 外国人目線での多言語サインの整備
(歴史解説を含む)
- 掬星台へのルートに掲載した多言語登山
マップの作成

自然に浸る

「学びと発見に満ちた山地」

方策 1

原生的な自然を
将来に引き継ぐ



再度山の良好な森林や池の恩恵を
将来にわたり享受できるよう、
保護・保全を図る。

- 森林植物園も含めた神戸市内の大規模公園の
あり方検討

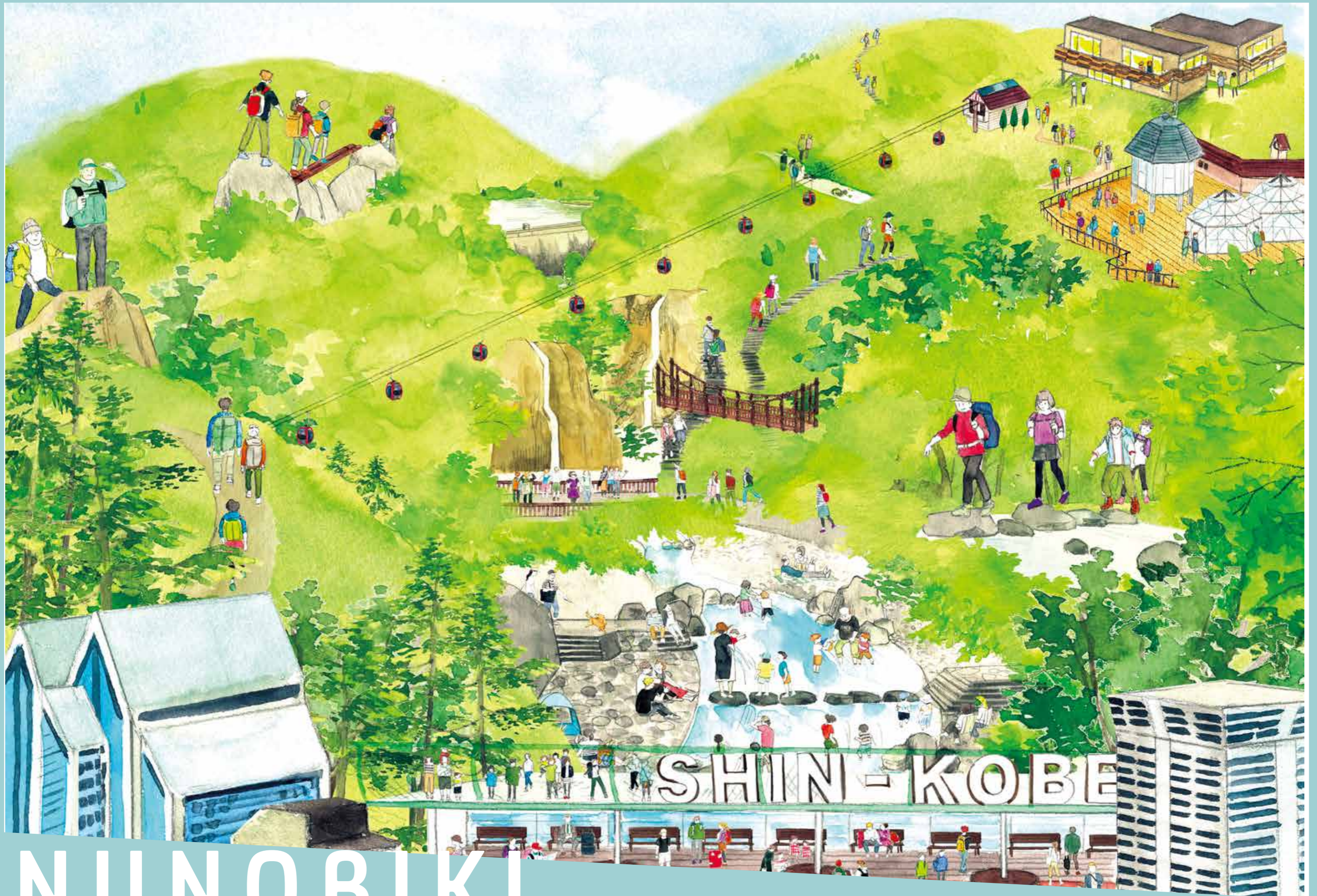
方策 2

自然と歴史を体感する
空間を整備する



神戸の歴史や自然を体験し学べる
空間を整備する。

- ◎ 国名勝である再度公園や外国人墓地のPR
- ◎ 自然、歴史などの資源を体験できる
プログラム造成
- 神戸の歴史(外国人墓地に紐づいた神戸の
歴史、植生の変遷等)を学ぶ機会の充実

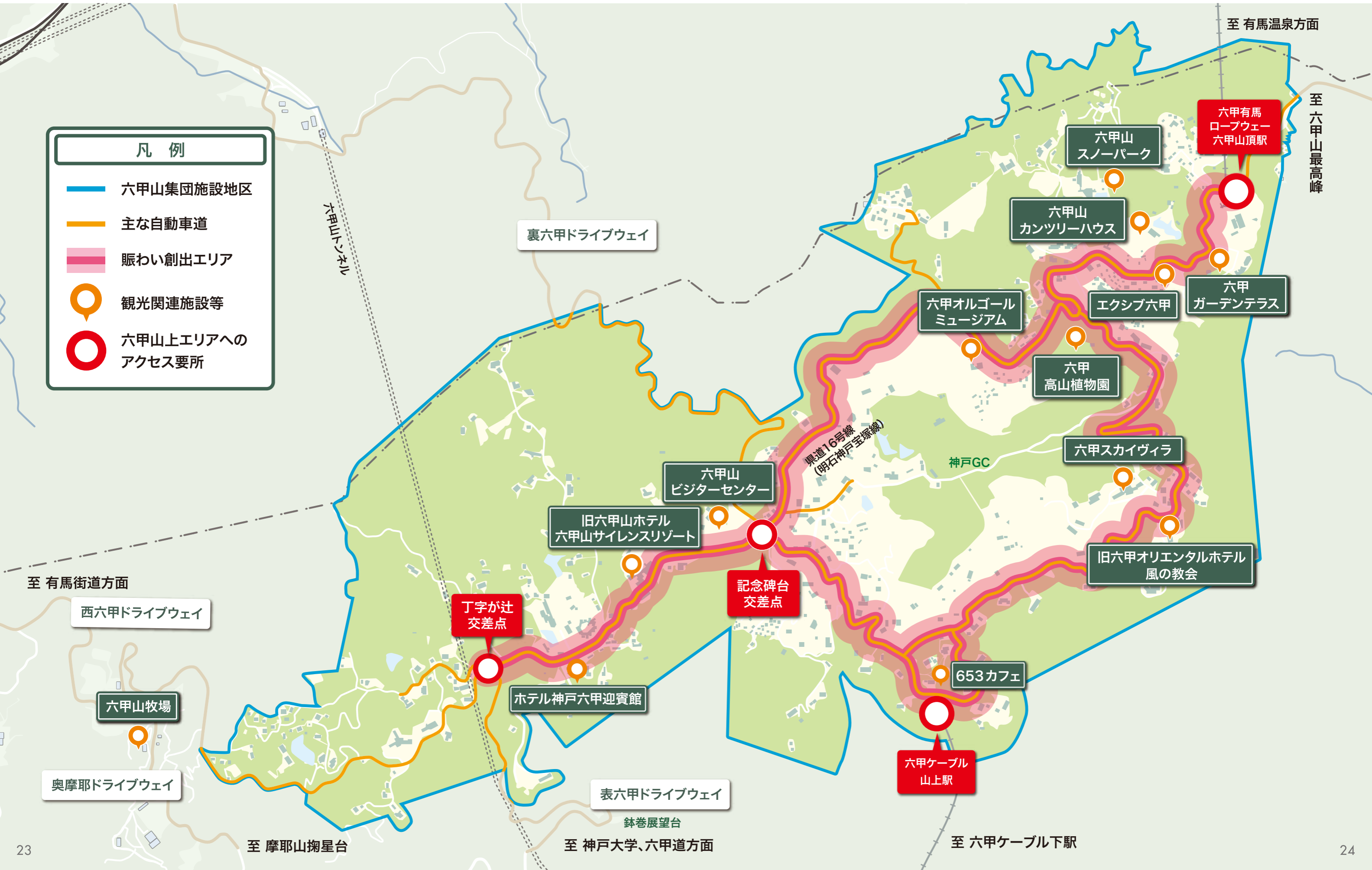


NUNOBIKI



FUTATABI

六甲山上の賑わい創出エリアのイメージ図



主要アクションプラン

ゾーン	アクション	実施主体	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	
各ゾーン共通	六甲山のブランディング	市/神戸観光局/六甲摩耶観光推進協議会		六甲山のブランディングの実施・共有	ブランディングに基づき、プロモーション・イベント等実施				
	多様なターゲットへのプロモーション(マスメディアとの連携等)	神戸観光局	六甲摩耶観光推進協議会と連携したプロモーションを実施						
	六甲山における情報の一元化(ホームページ等)	市/神戸観光局/六甲摩耶観光推進協議会	六甲摩耶パーフェクトガイドの制作	六甲・摩耶ポータルサイトの制作	六甲・摩耶ポータルサイトの運用				
	時代にあった規制の見直し	環境省/県/市	観光施設の新築を認める規制緩和のバコメ実施 風致条例の摩耶山上地区の高さ規制見直し(2019年度から13mへ)	観光施設の新築を認める規制緩和の運用開始 都市型創造産業に資する事務所等の立地を認める規制見直し検討 風致条例の六甲山・摩耶山集団施設地区における規制見直し(建築物の基準について自然公園法への準拠検討)					
	六甲山活性化に向けた相談窓口の設置	県/市	活用事例別パンフレットの制作 相談窓口設置	活用事例別パンフレットの発行・配布					
	登山道、道標の整備(多言語サイン整備)	市	道標・案内板の多言語化 ・再度公園～再度公園 ・六甲山上(案内板のみ)	道標・案内板の多言語化 ・再度公園～再度公園 ・六甲山上(案内板のみ)	道標・案内板の多言語化 ・上野道～青谷道 ・六甲山上(案内板のみ)				
楽しく安全に歩ける空間整備(歩道整備)	市		集団施設地区内の散策路計画策定 老朽化した道路付属物・舗装の更新	丁字が辻～旧六甲山ホテル間の歩道整備検討(用地確保の必要があり竣工時期未定)					

ゾーン	アクション	実施主体	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
六甲山・摩耶山ゾーン共通	駅等から登山口までの誘導看板の整備	環境省/県	調査・設計の実施	誘導看板の設置				
	市街地からの分かりやすい誘導(統一デザインによる案内、交通結節点での案内改善等)	市		統一デザインによる鉄道最寄駅等での誘導案内設置	デジタルサイネージを利用した案内誘導及び情報発信			
	山上での交通手段の充実(バスを補完する楽しい交通手段の検討、レンタサイクルの活用等)	市/民間	レンタサイクルの実施検討	山上交通改善計画の検討				
	急行バスの運行継続による山上へのアクセス改善	市	急行バスの運行社会実験	急行バスの運行拡充(期間延長、路線・本数)	急行バスの継続運行			
	キャッシュレス化	すまいまちづくり公社/民間		山上施設のキャッシュレス化検討	山上施設のキャッシュレス化実施			
	体験プログラムの造成	神戸観光局/民間	国立公園満喫PJIによる体験型商品造成・販売開始	神戸観光局と連携して体験プログラムを販売・追加造成 公民共創事業等を活用し新たなコンテンツ造成を検討				

ゾーン	アクション	実施主体	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
六甲山ゾーン	既存コンテンツの充実(六甲ミーツ・アート芸術散歩等)	民間	六甲ミーツ・アート芸術散歩2018開催(第10回記念開催)	六甲ミーツ・アート芸術散歩2019開催	六甲ミーツ・アート芸術散歩の開催等			
	景観を害している廃墟を撤去できる仕組みの検討	環境省/市	「賑わい創出事業」による解体費補助実施	「賑わい創出事業」解体費補助の拡充実施 国費活用による補助拡充の検討	「賑わい創出事業」による解体費補助の実施			
	六甲ケーブル下駅の改築	民間		改築検討	改築工事	改築竣工		

ゾーン	アクション	実施主体	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	
六甲山ゾーン	トイレ整備	市/民間		六甲山最高峰のトイレの更新					
	新しい機能の導入(眺望デッキの新設)	民間	六甲山観光新施設の導入検討 六甲ガーデンテラス(眺望デッキ等)リニューアル検討	フォレストアドベンチャー神戸六甲山運営開始 六甲ガーデンテラス(一部レストラン等)リニューアル工事 六甲山カンツリーハウスリニューアル検討	六甲ガーデンテラス(眺望デッキ等)リニューアル検討 六甲山カンツリーハウスリニューアル工事	六甲ガーデンテラス(眺望デッキ等)リニューアル工事 六甲山カンツリーハウスリニューアル竣工	六甲ガーデンテラス(眺望デッキ等)リニューアル竣工	六甲ガーデンテラス(眺望デッキ等)リニューアル竣工	
	既存レストランのサービス面の向上(料理やサービスの質)	民間	既存レストランのサービス面の向上(料理やサービスの質)						
	補助制度を活用した遊休施設等の利活用の促進(宿泊施設、レストラン、カフェ、企業ゲストハウス、貸別荘等の民間誘致等)	県/市	六甲山「賑わい創出事業」の実施	六甲山「賑わい創出事業」の拡充実施 「賑わい創出事業」の見直し検討	「賑わい創出事業」の実施				
	遊休施設所有者と参入意向のある事業者とのマッチングの検討	県/市	山上の施設所有者等へのアンケート実施	参入意向のある事業者と空き施設等のマッチングの開始					
	インターネット通信環境の改善	市	インターネット通信環境の改善に向けた最適な手法の検討	光ケーブルの敷設に向けた調査	光ケーブル敷設事業者の公募・施工				

ゾーン	アクション	実施主体	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	
摩耶山ゾーン	オテルド・摩耶から掬星台までの利活用検討(ビジターセンター及び魅力ある施設の設置、周辺の再整備等)	環境省/市	再整備対象エリアの測量実施	摩耶山上エリア再整備に向けた調査・検討	摩耶山上エリアの再整備事業者の公募予定	オテルド・摩耶PFI事業終了(2021年3月末)			
	虹の駅周辺の利活用検討(第二展望台化、あずまや、トイレの整備)	環境省/市/民間	利活用について検討						
	展望施設の魅力向上	市		摩耶山上エリア再整備に向けた調査・検討	摩耶山上エリアの再整備事業者の公募予定				
	六甲山牧場の再整備の検討	市	六甲山牧場の活性化調査	但馬牛の牛舎・放牧場の整備 六甲山牧場の新たな魅力創出計画策定	但馬牛の繁殖、観光牧場の推進				
	掬星台への輸送力強化の検討(摩耶ロープウェー・施設の大規模改修等)	市/すまいまちづくり公社		実現可能性を含めて協議	多客時のピストン運行				

ゾーン	アクション	実施主体	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
布引ゾーン	三宮や北野エリア等との連携	神戸観光局	市街地発のガイド付きハイキングツアーの実施検討	市街地発のガイド付きハイキングツアーの実施、担い手確保策の検討				
	ナイトタイムエコノミーの推進	神戸観光局	公民共創事業の中で「ナイトタイムエコノミー」をテーマの1つ設定して事業を募集					

ゾーン	アクション	実施主体	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
再度山ゾーン	国名勝である再度公園や外国人墓地のPR	市/神戸観光局	外国人墓地のプロモーションビデオ制作	外国人墓地の礼拝堂の常時開放(PV上映、パネル展示) 各種プロモーション活動の中でPR実施				
	自然、歴史などの資源を体験できるプログラム造成	市/神戸観光局		「森の学校」「森の小学校」「森の文化祭」の継続実施 「総合的な学習の時間」等で環境型体験学習の実施				通訳案内士等を活用した外国人語対応可能なガイド付きツアーの実施検討